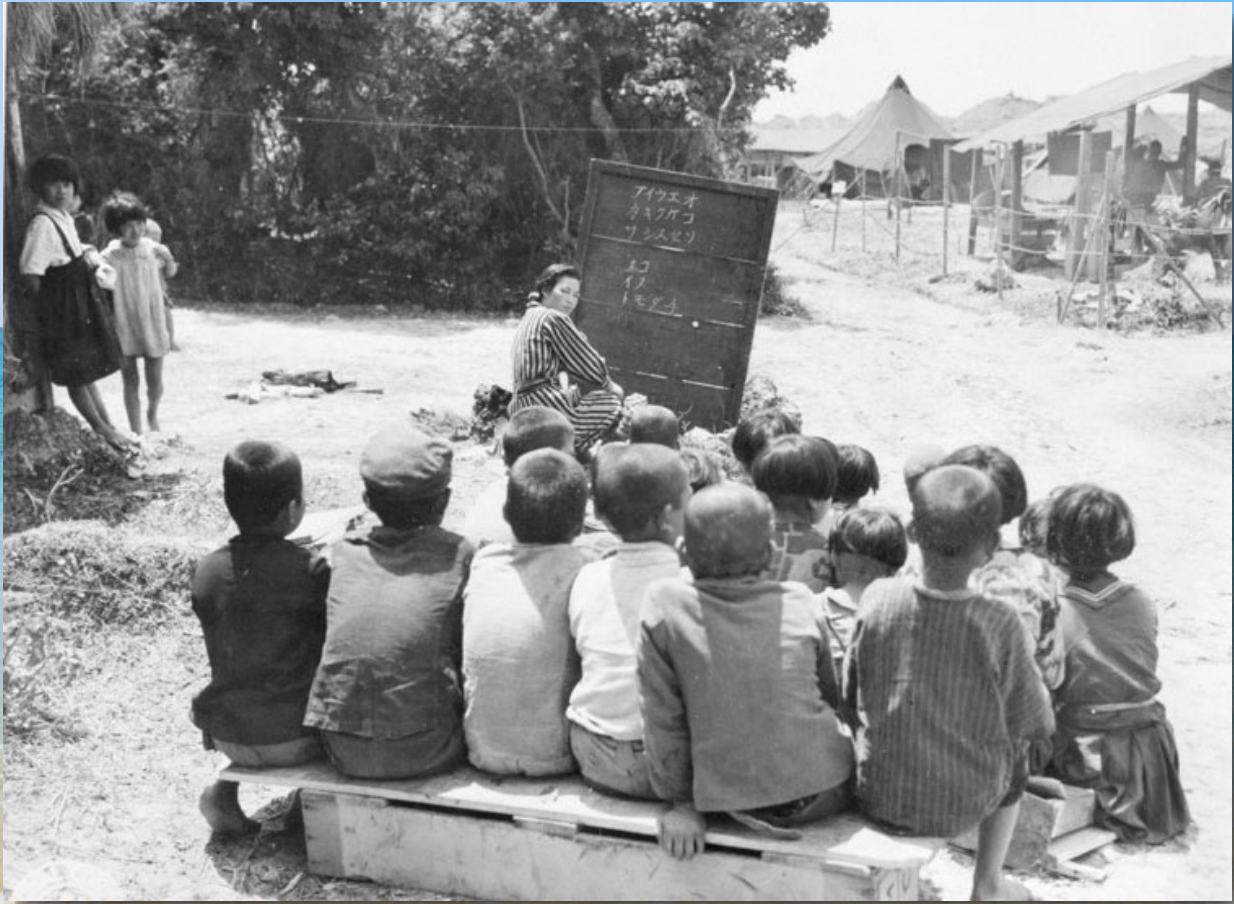


滋賀県平和祈念館
令和7年度 地域交流室展示

沖縄戦と子どもたち

沖縄から見つめる戦後80年



写真：沖縄県公文書館所蔵

令和7年(2025年)

令和8年(2026年)

12月3日 水 - 2月8日 日 〈入館無料〉

開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 月・火曜日(祝日にあたる場合は開館)12月15日～1月6日は休館

※その他業務の都合により休館する場合があります。

駐車場 / 約50台(無料)

主催：滋賀県平和祈念館

協力：沖縄県公文書館、沖縄県平和祈念資料館、対馬丸記念館

詳しくはホームページをご覧ください。

滋賀県平和祈念館

検索



滋賀県平和祈念館

〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地

TEL / 0749-46-0300

FAX / 0749-46-0350

E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp

沖縄戦と子どもたち

沖縄から見つめる戦後80年

日中戦争、そして太平洋戦争へと拡大した戦争は、日本にとって長く出口の見えないものとなりました。日本列島の南に位置する沖縄県は、やがて戦争の最前線となり戦火に巻き込まれていきます。

昭和19年(1944年)、日本では激しくなる空襲に備えて、子どもたちが学校ごと地方に集団で避難する「集団学童疎開」が始まります。沖縄県では、同年7月中旬から本土への疎開が行われました。そうした中で、8月21日に那覇港から長崎に向けて出港した疎開船・対馬丸は、翌22日夜にアメリカ軍の潜水艦によって撃沈され、多くの子どもたちが犠牲となりました。

さらに、昭和20年(1945年)3月以降、沖縄本島では、住民をも巻き込んだ激しい地上戦となり、多くの犠牲者を出しました。

令和7年度の地域交流室展示では、沖縄県関係機関の協力のもと、「沖縄戦と子どもたち」をテーマに、対馬丸沈没事件をはじめ沖縄戦に巻き込まれていった子どもたちについて紹介します。あわせて、沖縄県が取り組む「児童・生徒の平和メッセージ」も紹介します。

協力館の紹介



沖縄県公文書館



沖縄県平和祈念資料館



対馬丸記念館

関連行事

令和7年度地域交流室展示 展示解説

予約不要

令和8年(2026年) 1月18日(日) 14:30～(約30分程度)

平和祈念館からのお願い

■ 体験談の聞き取り調査・資料寄贈にご協力ください

国内外で戦争を体験された方からの体験談を募集しています。調査員がうかがってお話をお聞きます。また、戦争に関わる資料(戦没された方の遺品、戦時中に使っておられた品物、当時の写真・書類など)の寄贈を受付しています。資料の背景や当時使っておられた方の軍歴または体験談をお聞きます。対象は現在、滋賀県にお住まいの方、または滋賀県に関係した戦争・戦時中の生活についての情報をお持ちの方です。

■ ボランティアの募集

戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるさまざまな活動のボランティアを募集しています。

■ 滋賀応援寄附のお願い

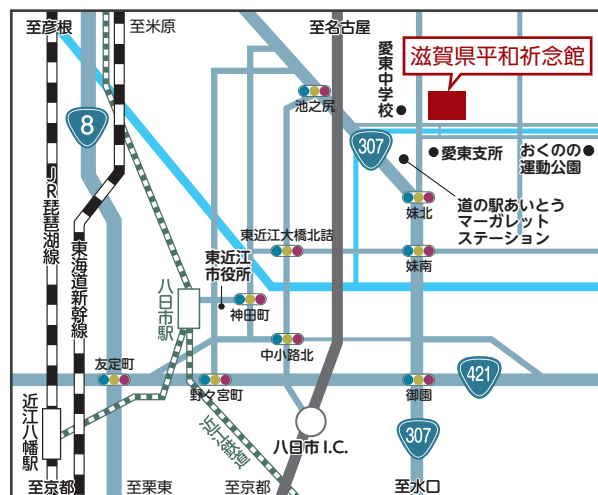
いただいたご寄附は、平和への想いを次世代へつないでいくための事業に活用します。

詳しくは「滋賀県平和祈念館」までお問い合わせください

TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350

E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp

交通アクセス



- JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え
近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ
- 名神高速道路「八日市IC」から車で約10分(駐車場/約50台(無料))